はとほーむ

村山苑

第 45 号

目次

1、生活相談員としての思い

2、敬老行事、家族会散歩

3、お年寄り作品展、地域との交流会

4、クリスマス演奏会、消防訓練

生活相談員としての思い

主任生活相談員　越村潤

主任相談員に就任して二年半が経ちました。特養ハトホームは定員が一八〇名と、東村山市内では大きい施設になります。そのため、生活相談員も五名体制で皆様方の支援に当たっております。それぞれの相談員が、介護支援専門員やショートステイ担当などと兼任し、慌しい日々を送っておりますが、これからもその中心的役割として勤めていけるように頑張りたいと思います。

平成二十七年四月の法の改正により、特養の入所対象者が原則要介護度三～五の認定を受けた方へ変更となりました。以前に比べると入所申込みをされる方の数は少なくなりましたが、未だ多くの方に待機していただいている現状があります。在宅で介護をされている方、老人保健施設や有料老人ホームなどの施設に入所されている方、病院での入院を継続されている方など、皆様がそれぞれの事情で特養のベッドが空くのを待っていただいております。また、最近では、生活保護を必要とするケース、ご家族による虐待などの困難なケースなども多くなりました。

このように特養に求められる幅も広がりつつあります。相談員としては、退所者がでたら、すぐに新しい方が入所出来るように、申請をいただいたご家族との連携を蜜にとり、ご本人面接等を行い、入所までの間がスムーズに行えるよう務めております。また、行政や病院、地域の事業所などとも連携をとり、困難ケースにも対応していきます。

入居者の方が退所される時、「ハトホームでの生活の中で何をして差し上げられたのか？」と考えさせられることがあります。しかしながら、退所の際には多くのご家族の方に、「ハトホームに入所出来てよかった」、「最後の施設がハトホームで良かった」などのお言葉を頂戴します。相談員としてこれほど嬉しい言葉はありません。今後もこのようなお言葉を頂戴することが出来るよう、ご本人、ご家族との相談窓口として、努力したいと思います。

クリスマス演奏会

十二月十八日（日）ハトホームでは、東村山市内の中学校の吹奏楽部の生徒が来園され、演奏会が行われなした。クリスマスでおなじみのジングルベルの演奏がありました。また、ゲバゲバ九十分のテーマや会津磐梯山など懐かしい曲も演奏がありました。入居者や家族、職員など真剣に素晴らしい演奏を聞いて、楽しまれていました。

自衛消防訓練効果確認

十二月十五日（木）自衛消防訓練効果確認を行いました。これは東村山消防署の方が審査員となり、日頃の訓練の効果を確認していただくもので、ハトホームは毎年参加をさせていただいています。今年は隊長・隊員各一名の体制での実施となり、介護職員から一名、事務員から一名が参加しました。

火点は、当日消防署の方に決めていただき、訓練する本人には事前には伝えません。今年は一階のバックヤードにある調理室が火点となりました。想定外の場所に多少戸惑ってしまいましたが、忙しい業務の合間を縫って練習を重ねてきた甲斐があって力を発揮することが出来ました。

● 私たちと一緒に働いていただける方を募集しています。

介護職・看護師

食事のお手伝い（資格不問）

お気軽に是非ご連絡ください。

☎042-393-7574（採用担当まで）

● ギャラリースペースのご案内

ハトホーム１階のギャラリースペースでは、地域の方々の絵や写真などの作品を展示させていただいております。

作品展示についてのお問い合わせは下記まで。

☎042-393-7574（担当者まで）

本文デザイン　ハトホーム広報委員

発　行　社会福祉法人　村山苑

特別養護老人ホーム　ハトホーム

〒１８９－００２４　東村山市富士見町２丁目７番５号

TEL　０４２－３９３－７５７４

E-mail　hatohome@murayamaen.or.jp

発行人　畠山　千春

編　集　ハトホーム広報委員会　　2016 年 12 月末日　発行

※ホームページも更新しています。　http://www.murayamaen.or.jp

※個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ、写真・作品を掲載しています。

九月十八日(日)、毎年恒例となっております、ハトホーム敬老行事を行いました。

今年は、東村山阿波踊り『久米川連』の皆様が阿波踊りを踊りに来て下さいました。

久米川連のお子様達も、一生懸命に踊って下さり、入居者の皆様を楽しませて下さいました。

入居者の皆様も、阿波踊りのリズムに合わせて、手拍子で音頭をとられたり、両手を動かされたりしながら、大変楽しまれておりました。

お年寄り作品展

十月十四日(金)～十月十六日(日)入居者の皆さんと、東村山市中央公民館にて行われた『お年寄りの作品展』へ行きました。

作品展には、ハトホーム習字クラブ参加者の書道の作品や、デイサービス利用者の方の作品が展示されています。ハトホームの作品の他にも貼り絵や縫い物など、様々な施設の方の作品が展示されていました。

真剣な様子で他の作品をご覧になっていました！

書道クラブでは先生をお招きして、お手本を元に練習と清書をしています。普段から皆さん真剣に先生のお手本を見て練習をしています。各フロアで掲示されている書道ですが、いつもより大きな半紙に作品展用の清書をするのは緊張したそうです。

参加された方は、「いろいろな作品を見てとても楽しかった！」「わたしもこんなものを作ってみたい！」と笑顔でお話されていました。

家族会との散歩

十月十六日（日）午後二時から三時まで、「秋の散歩会」が実施されました。入居者様のご家族や家族会の方々のご協力により、多くの入居者様（二十名以上）が参加する事ができました。

当日はお天気にも恵まれ、秋のそよ風を心地良く感じながら、お散歩を満喫し、参加者様には多くの笑顔が見られ、秋の季節も感じられた散歩会となりました。

【散歩途中の「野火止用水歩道」にて】

「ワァー！鯉がたくさん泳いでいる！！」

参加入居者様から多くの歓声が聞こえました。

今回のお散歩コースは「野火止用水」です。沿道の植物も徐々に冬支度を始める中、参加入居者様は付き添いの方との談笑を楽しみながら、元気一杯にお散歩をされていました。

途中、近隣の公園にて、お茶やスポーツドリンクで乾いた喉を潤し、参加したみなさんで記念写真の撮影を行ないました。

散歩会は大盛況のうちに無事終了し、「とても良かった。」「また参加したい。」など、多くの感想を参加入居者様からいただきました。

このような散歩の機会を今後も大切にしていきたいです。

誰でも介護フェア

東京都社会福祉協議会・東京都高齢者福祉施設協議会が主催する地域貢献活動の都内一斉キャンペーン「つながれ　ひろがれ　ちいきの輪　ｉｎ　ＴＯＫＹＯ」に村山苑も参加しました。これは、誰もが安心して暮らせるまちを目指して、高齢者福祉施設等が地域に寄り添うことで「ちいきの輪」をつくることを目的として、東京都内の社会福祉法人が力を合わせて実施する初の取り組みです。

ハトホームでは「誰でも介護フェア」として十一月一日（火）に開催。①脳活性化プログラム「シナプソロジー」体験（ハトホーム在宅サービスセンターで実践中）、②介護食の試食会、③介護なんでも相談を実施しました。シナプソロジーと相談会には残念ながらご参加の方はおりませんでしたが、介護食の試食会には法人関係者も含め、多くの方にお越しいただきました。普段ハトホーム入居者の方に提供させていただいているお食事の中から、ご飯・小松菜と揚げの味噌汁・かじきの照り煮・野菜とがんもの煮物・ごま豆腐をご用意し、かじきの照り煮は、前処理で酵素に浸したものと浸さないものを食べ比べていただきました。大半の方がその違いを実感し、特に保育園関係者の方は興味津々でした。嚥下のレベルに応じた４種類の食形態（普通・キザミ・超キザミ・ミキサー）を恐る恐る口にした方は味が同じでホッとした様子でした。

今回は東社協の企画に乗った形ですが、日頃から社会福祉法人としてできること、特養としてできることを考え、イベント以外でも足を運んでいただけるよう、地域の方とのつながりを大切にしていきたいと思います。